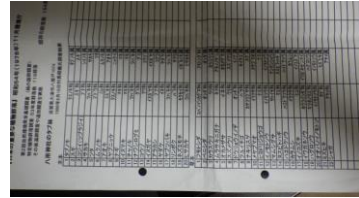


247回例会 初秋の蓬萊山麓と八所神社の植物観察

〈開催日時〉 2015年9月13日(日)
 〈集合場所〉 JR湖西線「蓬萊駅前」 9:30
 〈参加者〉 上田 担当幹事以下 19名



朝、雨がパラついていて心配でしたが、沢山の方に参加して頂きました。
 午前中に「八所神社」の境内と社叢森の植物観察と、神社周辺の散策を行い、
 湖岸で昼食後、この地区から産出する銘石「守山石」について、造園屋「石定」さん
 から説明を受ける予定で、観察会をスタートしました。
 八所神社の植物群落は30年前に実施されており、その後の推移も関心事でした。
 調査の結果、木本20種・草本22種の全てが現存しており、大きな成果だったと思います。
 私の写真レポートは観察順に掲載しています。30年前の調査リストに掲載されている種すべての写真は、ありませんが青字にしています。

八所神社の境内・社叢森の植物

ナギ (神社で多く見られる)
 社叢森に実生沢山あった



ハタガヤ

イヌマキ
 付属の写真は実



タチツボスミレ (右) とシハイスミレ (左)

コバノニセジュズネノキ
 鋭く長い棘が目立つ



ササクサ



写真での同定は困難 削除



写真での同定は困難 削除



ヤブミョウガの花と実



ヒヨドリジョウゴの花と実



ナガバハエドクソウ



シオデ (基部ハート型)



シンミズヒキ



ハグロソウ



主バナガクビソウ



ツブラジイ



ナナミノキ



カヤ



セキショウ



社叢林の中を流れていた水路跡に
ナワシログミ 棘がある 水場の林縁に



イワガネソウ



ヤブソテツ



リョウメンシダ



シャガ



ヤブラン



イノモトソウ



イラクサの花



ヌスビトハギの実



アレチヌスビトハギ



ニガキ



神社周辺の散策（山麓の田から湖岸まで）
ルコウソウ（栽培）



ユウゲショウ



クサノオウ 花と茎の切り口



写真での同定は困難 削除



ホシクサ

写真での同定は困難 削除



ウマノスズクサ

センニンソウ



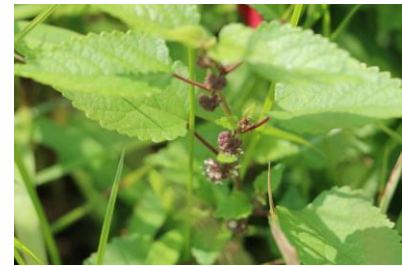
クワクサの花



カナムグラの雄花



ハマスゲの花序



カラムシ 古くは繊維をとった



アブラススキ 花序が下がる



ビロードエノキグサ



シロバナサクラタデ



ザクロソウ 3葉輪生



クルマバザクロソウ 6葉輪生



ミソハギ



アレチウリ 特定外来生物



ガガイモ



マメアサガオ



ツルマメ



ジュズダマ



サフランモドキ (栽培・逸出)



コミカンソウ (下) とヒメミカンソウ (上)



ナガエコミカンソウ (森小夜子：撮影四国)



コカモメツル



守山石



【感想】

今回は、「八所神社」の境内・社叢林の植物調査を中心に散策を行いました。
観察がスタートすると天候がどんどん回復し、昼食は初秋の琵琶湖岸で爽やかな空気と一緒にいただきました。私は、副担当幹事だったのですが十分な対応が出来ず、皆さんには大変ご迷惑をお掛けしました。写真の方も、八所神社のタブノキの巨木に圧倒されてシャッターを切るのを忘れてしまいました。午後の銘石「守山石」の説明会も多数参加いただき、好評だったことも嬉しかったです。ありがとうございました。

村山和夫